

令和4年度の主な事業

(1) 文化に参加する（文化活動への参加、鑑賞、発表、支援など）

（事業 No. 48）文化芸術まちづくり事業／『地域創造助成おんかつ事業』

<施策・事業目的>

（一財）地域創造が行う「公共ホール音楽活性化事業（導入プログラム）」を活用し、公共ホールの活性化と地域の音楽分野における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりに寄与し、あわせて公共ホールスタッフ等の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的として行う。

<内容>

（一財）地域創造の経費負担により演奏家とコーディネーターの派遣を受け、クラシック音楽に身近に触れるコンサートを実施。

併せて、学校や福祉施設等で生演奏や参加体験プログラムを実施。

担当者は、企画制作についての研修を受講し、コーディネーターからのサポートを受けながら、コンサートと地域交流プログラムをつくっていく。

<実績>

○「新野将之 みんなの打楽器コンサート」

令和5年1月22日（日） 於：舞鶴市総合文化会館 小ホール

来場者：173人

○地域交流プログラム

令和5年1月20日・21日 舞鶴支援学校、みずなぎ鹿原学園

参加者：190人

<今後の方向性>

地域交流プログラムを有効的に活用し、様々な境遇の方に文化に触れるきっかけとなるような事業を企画・実施する。



(2) 文化を創造する（作品づくり、人づくり、まちづくり）

（事業 No. 56）市民クリエイティブ事業／『市民オペラ』

〈施策・事業目的〉

市制施行 80 周年記念事業に向けたプレ事業として、市民や文化団体が主体的に企画・運営し、多様な人材との協働により、本市初の取組みとなる「市民オペラ」の舞台を創り上げる。

「市民オペラ」の制作を通して、チャレンジ精神を持つ市民が文化を創造する経験を積み重ね、市民の文化力を引き出すことで、市制施行 80 周年に向けた機運の醸成を図る。

〈内容〉

市民の企画・運営により、本市在住（出身）音楽家と公募市民の参加によるオペラを上演する。

〈実績〉

○オペラ公演「みんなあでOPERA」

令和 4 年 9 月 18 日（日） 於：舞鶴市総合文化会館 大ホール
出演者：市民 70 人、来場者：424 人

○ワークショップ

令和 4 年 9 月 16 日（金） 於：舞鶴支援学校、高野小、和田中
参加者：275 人

〈効果・今後の方向性〉

市民の企画・運営により市民参加の公演が開催でき、令和 5 年度に開催予定の第九演奏会に向けて機運の醸成を図ることができ、令和 5 年 1 月に結団した市民第九合唱団へとつなげることができた。



(3) 文化でつながる（交流、連携、情報発信など）

（事業 No. 52）文化芸術まちづくり事業／『文化の見本市』

<施策・事業目的>

小・中学生の子どもたちが文化に親しみ、参加する機会をつくり、文化の魅力の気づき、発見の場とする。

文化を地域に根付かせ、確かな継承を図るため、文化協会や市内文化団体が一体となり担い手育成に努め、文化の裾野を広げる。

<内容>

子どもたちが伝統芸能などに触れるきっかけ作りとなるイベントとして「文化の見本市」を開催する。

市内で文化活動を行う団体が活動の内容を紹介し、実際に体験できるワークショップを行う。併せて、講師による実演も実施する。

<実績>

令和4年7月24日（日）開催

会 場：舞鶴市総合文化会館、多世代交流施設まなびあむ

参加団体：23 団体（17 種類）

参 加 者：延べ259人

<今後の方向性>

より多くの子どもたち、文化団体が参加できるよう内容を精査し、工夫を凝らしながら、引き続き開催していく。

事業の運営を文化団体に委託することで、企画・運営のノウハウを習得していただく。



(4) まちづくりに文化を活かす(美しく活力に満ちた都市の創造)

(事業 No. 13) 世界記憶遺産国際ブランド推進事業

<施策・事業目的>

世界記憶遺産登録資料等を活用し、グローバルな視点で国際平和を願う歴史文化の交流・発信の拠点として、海外の博物館関係者との交流、連携の強化を図るとともに、国内でも有識者や引揚港の歴史を有する全国の都市との協力により引き揚げの歴史文化を掘り起こし、国内外への発信を推進するなど、舞鶴市及び舞鶴引揚記念館の国際ブランド力の強化を図る。

<内容>

国内外への発信・交流
巡回展の開催

<実績>

- 総務省平和記念展示資料館との合同展開催
令和5年2月22日（水）～3月5日（日）開催、東京都千代田区
- ウズベキスタン出身研究者等の講演会開催
令和4年7月9日（土）開催、舞鶴引揚記念館、参加者30人

<効果・今後の方向性>

合同展は、映画「ラーゲリより愛をこめて」とのコラボにより、メディアの関心も高く、連携したTBSのほかNHK全国放送の情報番組でも取り上げられ、大きな反響があった。

今後も、国内外の関連都市や博物館、メディア等と連携し、舞鶴や舞鶴引揚記念館のさらなるブランド力向上を図る。

(5) 舞鶴らしい文化を発信する（地域資源を継承し育むなど）

（事業 No. 62）文化財保存活用地域計画講座『舞鶴の足跡を探る旅』

<施策・事業目的>

文化財の保存・活用に関して、将来的なビジョンや具体的な事業を計画的に取り組み、進めることによって、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用が促進されることや、計画を広く周知し、市民や民間団体等の理解・協力を得ることで地域総がかりによる充実した文化財の保存・活用を図っていくことを目的としている。

<内容>

地域の歴史文化に興味を持つきっかけとなるよう、市内各地に残る原始時代から現代にいたるまでの舞鶴と舞鶴の歩んできた歴史の痕跡を探る連続講座を開催する。

<実績>

- 第1回 「西舞鶴の山城」と愛宕山城見学
令和5年2月18日（土）開催
- 第2回 旧舞鶴要塞に登る
令和5年3月4日（土）開催
- 第3回 金剛院の仏教美術
令和5年3月15日（土）開催
- 全3回 参加者19人

<今後の方向性>

アンケートでも要望があった若年層向けの講座を企画・開催する。

(6) 文化の育つしくみをつくる（条例に基づいた各主体の取り組みなど）

（事業 No. 27）文化振興奨励事業／『入賞記念コンサート』

＜施策・事業目的＞

“文化の育つしくみをつくる”一環として、若手芸術家の育成・支援に資するため、活動の場を設定する。

＜内容＞

市内に在住・在勤の方等が文化芸術分野の全国大会において優秀な成績を収められた場合、その演奏などを市民に披露する場として入賞記念コンサートを実施する。

＜実績＞

- 第40回全国小・中学生箏曲コンクール金賞受賞記念コンサート
令和4年10月15日（土） 於：西市民プラザ ふれあい広場
来場者：約40名
- 第11回日本学校合奏コンクール2022
全国大会グランドコンテスト銀賞受賞記念コンサート
令和5年3月11日（土） 於：舞鶴総合文化会館 大ホール
来場者：約700名

＜今後の方向性＞

文化の振興を図るためには、文化を育てるしくみづくりが必要であり、市民の文化活動を支援するための施策を推進していく。

